

令和4年度
小学校教育課程編成の手引
【各教科等編】

小学校 家庭における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

小学校家庭における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」

1 題材の概要

学 年：第5学年

題 材 名：B 衣食住の生活「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」11時間扱い

題材の目標：(1) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画、手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
(2) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
(3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・家庭科の資質・能力の育成を目的として、「計画、実践、評価、改善」などの「問題解決的な学習」の一連の学習過程の中で、ICTの特徴や家庭科の特性を踏まえて、活用することができます。
- ・「実践的・体験的活動」であるミシンを使った製作において、安全かつ効果的に学習を進めるために、活用することができます。

3 使用したソフトや機能

- ・動画撮影機能
- ・文書作成機能
- ・クラウド機能

【参考資料】

- ・StuDX Style
各教科等における1人1台端末の活用
各教科等での活用〔小学校 家庭〕（文部科学省）



小学校家庭における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



・生活に関わる知識及び技能を習得し、解決方法を検討する場面

ミシンの基本的な技能を習得する場面において、ミシンの操作について実物を使って説明した動画を児童一人一人が繰り返し視聴することにより、正しい操作方法を確認することができます。

児童の実態に応じた指導を行うことが可能となり、効果的・効率的に技能の習得を図ることができます。

【ICTの活用場面②】

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活 振り返りシート

名前（ ）

時間	取り組んだこと	振り返り
1	<ul style="list-style-type: none">自分の給食袋がどんな縫い目なのかを観察した。妹の給食袋を作ることを決めた。作るための計画を考えた。	<ul style="list-style-type: none">売っている給食袋の縫い目は、前に家庭科で作ったふでいれの縫い目と全然違う。ミシンで縫うと丈夫になることがわかった。来年妹が小学校に入るので、給食袋が必要になるので、作ってあげたいと思ったけど、どうやって作るのか少し不安。（売ってるやつみたくうまくできるのか） 

・実践した結果を評価・改善したり、改善策を検討したりする場面

授業の終末において、1単位時間ごとに学習の振り返りを入力できるシートを児童のICT端末に送り、児童一人一人ができるようになったことや次の学習で生かしたいことなどを入力します。

学習の記録が蓄積されることにより、自己の成長や思考の変容を確認することができ、教師の指導の改善にもつながります。

生活の
課題発見

解決方法の
検討と計画

課題解決に
向けた
実践活動

実践活動の
評価・改善

家庭・地域
での実践

家庭科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①「課題解決に向けた実践活動」の場面で活用

生活に関わる知識及び技能を活用して調理・製作等の実習や調査・交流活動を行う場面において、様々な種類の料理や作品、自らの実習の様子等を写真や動画で撮影・保存することにより、それらを活用して解決方法を検討することができます。



②実践的・体験的な活動での安全かつ効果的な活用

実習や製作の中で、つまずいた時や細かな動きを確認したい時に、クラウド上の動画の中から児童一人一人が必要とする場面の動きを選び、何度も繰り返し再生することにより、安全かつ効果的な学習活動を行うことができます。



【参考資料】

- ・家庭、技術・家庭（家庭分野）の指導におけるICTの活用について（文部科学省）



【スライド資料】



【解説動画】